

箕輪町

公民館だより

発行：箕輪町公民館 ☎79-2178

5月13日(水)、令和8年度の活動がスタート！

大学・大学院・学級 合同開講式

箕輪町公民館文化講演会が開かれました



【全5学級が一堂に会して開講式】

令和8年度、ふきはら大学6名、ふきはら大学院2名、なでしこ学級25名、おやじ学級16名、けやき学級20名、計89名の仲間が一同に会し、各学級・大学が開講。今年度も学級生以外の皆様が誰でも参加できる「公開講座」を計画しています。

合同開講式には、ご来賓の副町長さんから、これからの学びへ激励のメッセージをいただきました。

本年度新たに着任した藤田浩史公民館長からは、鈴木俊貴さん著書「僕には鳥の言葉がわかる」を紹介し、心が動く・心が震える・感動する、心がうれしくなり力が湧いて元気を感じませんが？ごく普通の日常の中で心が動くということはとても良いことだと思います。この公民館での活動が皆さんの心を動かすきっかけになればいいなと思います。公民館に集う、学びを楽しむとともに皆さんとの交流が深まる事を期待しています。と開講あいさつがありました。

受講生を代表してふきはら大学院3年の丹内春美さんから「公民館の大学や学級は、学びや人との出会い、交流の場となります。大いにチャレンジし、有意義で自主的な講座をつくるよう共に頑張りましょう」と決意あいさつがありました。



【藤田館長あいさつ】

文化講演会「動き出す伝統！古田人形の魅力～古田人形にふれる 歴史と技～」

講師；古田人形芝居保存会 代表 上野秋光 さん 他

合同開校式に引き続き、古田人形保存会代表上野昭光さん他3名の方々による古田人形に歴史から人形の動作方法の説明をしていただきました。人形の首や手が動くと「お～」「なるほど」などの歓声もあり、講演ではわからない人形の動きを知り更に親しみを感じ大変盛り上がりました。



<陶芸講座(前期)始まる！>

令和8年度前期陶芸講座が箕輪町陶芸研究会の向山智充さん講師により18名の受講生のもと5月14日(木)開講式が行われスタートしました。和気あいあいとした雰囲気の中で早速粘土を手にして出来上りを楽しみに作陶を開始しました。5月14日から7月6日まで前後半の2回に分けて作陶・窯焼きを行い、出来上がり後は文化センター展示コーナーへ展示する予定です。



【陶芸講座作陶の様子】



<モルック体験会が始動>

各地区よりモルックの貸し出しも増えてきてモルックに親しむ町民の皆さんが増えてきており、本年度も昨年に引き続きながたドームにて体験会開催をしました。親子連れ、ご近所の仲間、友人、区に分館役員、町HPで知って遠方からのご夫婦など、小さなお子さんからシニアの皆さんまで幅広い年代の方々が約40名集まり練習や対抗戦を行って技を磨きました。今年5・7・9月の隔月に体験会を開催し、10月10日(土)第3回「みのわエンジョイモルック大会」を開催予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

